

## 第 2 回検討委員会における委員意見への対応（案）

発言者	項目	意見	対応の方向性	対応方法（案）
今村 委員長	人口図(P11、 12)	道路も昼夜で人口 が異なる。	道路交通センサスなどには 時間帯別の交通量のデータ もあることから、それらを活 用していきたい。	時間帯別の交通量を把 握し、避難行動シミュ レーション等に反映さ せる予定。
	避難行動の 種別 (P22 ~ 24)	避難時にネックに なる箇所はどこま で交通規制ができ るかが重要。	交通規制の考え方などにつ いては、避難計画を考える上 で重要なポイントなので、県 警などと協議しながら、検討 していきたい。	素案等の中で、交通規 制の考え方について整 理を行う予定。
	避難行動の 考え方(P16)	実際と想定の違い は判断できない。 避難訓練、アンケ ートを通して判断 すべき。	被災者への配慮も必要なこ とから、慎重に検討したい。	調査時期、方法等につ いて整理を行う予定。
	避難方法の 区分(P18)	P18「啓発が困難な 方」は徒歩になる だろう。	普段の啓発が困難な観光客 等は自動車で避難すると考 えられるが、海岸公園等を利用 している方は、避難距離が 長く、駐車場出口の渋滞も想 定されるため、徒歩で避難す ると想定する。	徒歩避難が想定される 方、自動車避難が想定 される方について、素 案等の中で整理を行う 予定。
小野 委員	人口図(P11、 12)	昼夜で集落の人口 が増えているのは 岡田だけのように 見えるが、岡田以 外の集落も夜間人 口が増える。	図には表れていないが、全て の集落で夜間の人口が増え ると想定している。	夜間の集落人口の増加 が分かるよう表現方法 を工夫する。
折腹 委員	避難方法の 区分(P18)	高齢者の場合、自 力歩行可能な方 と、自力歩行が困 難な方がいる。避 難に配慮が必要な 方を自動車避難と しているが、どの 程度自動車避難が 可能か疑問であ る。	自力歩行が困難な方は、単 独での避難ではなく、家族等 の介助者との避難を想定して いる。 地域の方に、住民全員が無 事に避難するにはどうしたら よいか定期的に話し合っ ていただくことも必要となる。	素案等の中で整理を行 う予定。

	避難施設イメージ(P29)	高齢者は、どの避難施設でも高台避難が難しい。何か工夫が必要。	施設にスロープ等の設備を検討するが、高台への避難が特に困難な方は、自動車の利用も検討してもらおう。	第3回検討委員会等で提示予定。
越村委員	人口図(P11)	図の中に車とあるが、交通量の根拠は何か。何kmおきに配置しているか。	H17 道路交通センサスの県道塩釜亘理線のデータから想定している。図は、100人ずつ配置しているが、配置間隔に根拠はない。	交通量の根拠について素案等の中で提示する予定。
		県道の交通量は多く、一斉に3本の避難路で逃げると渋滞が発生する。交差点の考え方を検討すべき。特に南向き、交差点で右折して避難する自動車の渋滞が想定される。	自動車による避難の前提条件を整理したうえで、避難行動シミュレーションを行い、交差点を含む渋滞の発生状況などの課題について把握したい。	今後の委員会の中で、シミュレーション結果などに基づき、自動車での避難に伴う課題と、それに対する対応案を示していく予定。
		海水浴客のほかにサーファーも想定すべき。	大会の参加人数等を調査し、想定する予定。	素案等の中で整理を行う予定。
齋藤委員	避難行動の考え方(P16)	「平常時の周知啓発」は誰がいつどこでどうやって行うかという課題がある。	周知、啓発等については今後検討する予定。	素案等の中で整理を行う予定
	避難方法の区分(P18)	「避難に配慮が必要な方」の中に妊婦、乳幼児等も含めてほしい。	避難に配慮が必要な方に、妊婦、乳幼児、外国人等を含めて検討を行う。	素案等の中で整理を行う予定。
	避難道路のイメージ(P23)	歩道が3.5mあるが、自転車も入るのか。	宮城県の指針においては、自転車も考慮した上で、この幅員を例示している。本市としては、この地域の特性やシミュレーション結果も考慮しながら、幅員構成を検討していきたい。	今後の委員会の中で、この地域の特性やシミュレーション結果を考慮した上で、避難道路の断面構成を示していく予定。

佐藤(健) 委員	人口を想定する施設 (P9)	七北田川以北の事業所エリアからの避難者の流入も考慮が必要か。事業所等の避難は独自に検討してもらうのであれば、エリアごとの関係を示すべき。	七北田川以北の事業所等の避難は独自に検討してもらう予定である。さらに、避難場所に余裕がある事業所は、近隣住民の受け入れも行っていただけるよう協定等を結んでいく。七北田川を挟んで北からの避難者の過大な流入はないものと考えている。	素案等の中で整理を行う予定。
	主要避難路 (P22)	東部道路の手前での自動車の詰まりを想定するのか。	避難道路の東部道路横断部の現状を把握した上で、避難行動シミュレーションに反映させたい。	今後の委員会の中で、シミュレーション結果などに基づき、東部道路横断部における課題と、それに対する対応案を示していく予定。
		東部道路への車の避難用の進入口の検討は可能か。	東部道路から先については別途検討を行う。	東部道路から先について、シミュレーション等を活用し検討する。
佐藤(美) 委員	人口図(P11)	南蒲生は高齢化が進んでおり、避難施設は近くに必要である。	集落内にいる方が歩いて避難できる範囲で避難施設の整備を目指す。	避難施設の配置の考え方について、素案等の中で整理を行う予定。
		農業園芸センターは春の展示会も人が多い。	春の農業園芸センターや農地も人口の増加が想定されるため、検討する。	人口の季節変動に、春も含めた検討を行う。
武田 委員	避難行動の種別 (P22 ~ 24)	主要3避難路以外に一般市道も確保すべき。	自動車による避難の前提条件を整理したうえで、避難行動シミュレーションを行い、交差点を含む渋滞の発生状況などの課題について把握したい。	今後の委員会の中で、シミュレーション結果などに基づき、自動車での避難に伴う課題と、それに対する対応案を示していく予定。
		車の避難は誰が誘導するのか。	周知、啓発等については今後検討する予定。	素案等の中で整理を行う予定
		車は東部道路以西のどの場所で留まるのか。	東部道路西側の現状を把握した上で、自動車の避難先について現実的な考え方を整理していきたい。	今後の委員会の中で、自動車の避難先に関する考え方を示していく予定。

徳永 副委員長	避難行動の 考え方(P16)	一般市道へ進入する車を規制できるか、渋滞で徒歩に変更する際の誘導はできるのか等、いくつか想定に問題箇所がある。	想定の見直しを行う。	想定の問題箇所について、委員からの意見を伺いながら修正し、素案等の中で整理を行う予定。
		(佐藤健委員の「東部道路への車の避難用進入口の検討」に対し)常時はパーキング、緊急時は避難場所とできる。	東部道路から先については別途検討を行う。	東部道路から先について、シミュレーション等を活用し検討する。
平山 委員	避難行動の 種別(P22～ 24)	避難路は3本だけでは渋滞が発生する。農道、一般市道も広げて本数を増やすべき。	自動車による避難の前提条件を整理したうえで、避難行動シミュレーションを行い、交差点を含む渋滞の発生状況などの課題について把握したい。	今後の委員会の中で、シミュレーション結果などに基づき、自動車での避難に伴う課題と、それに対する対応案を示していく予定。
増田 委員	避難行動の 考え方(P16)	シミュレーションは北部の事業所エリアも含めて行い、大型車の流入等も検討すべき。	七北田川以北の事業所等の避難は独自に検討してもらう予定である。 地震発生後、西への避難を基本としており、七北田川を挟んで北からの大型車等の過大な流入はないものと考えている。地震発生時に南へ向かっていた車等は考慮する。	想定について、委員からの意見を伺いながらシミュレーションを実施する予定。
		あまり情報がない中で、それぞれの判断で行動する。具体的な交通予想をもう少し整理すべき。	具体的に避難する上でどんな問題が発生するか整理する。	避難上の問題箇所について、素案等の中で整理を行う予定。
		避難者に対し、津波が来るのか来ないのか、どのくらいの高さの津波が来るのかを示すことはできないか。	周知、啓発等については今後検討する予定。	素案等の中で整理を行う予定

	<p>今回のような最大の津波が発生した場合の避難行動をワークショップのようなもので検討してはどうか。</p>	<p>周知、啓発等については今後検討する予定。</p>	<p>素案等の中で整理を行う予定</p>
	<p>家族の安否が不安で自宅に戻る方に、海に向かうと言えるか。どうルール化するかが重要。</p>	<p>周知、啓発等については今後検討する予定。</p>	<p>素案等の中で整理を行う予定</p>
<p>避難行動の種別 (P22 ~ 24)</p>	<p>農道がどう整備されるか、もう少しネットワークが見える図を使って地元の方とディスカッションすべき。</p>	<p>ほ場整備後も現在の道路ネットワークは大きく変わらないため、一般市道の現状を調査し、避難路として検討する。</p>	<p>一般市道の避難路としての位置づけを、素案等の中で整理を行う予定。</p>